

「グローバル化に伴う領域横断的
法学研究・教育の課題と可能性」
講演会

国連特別報告者と日本

日時 2017年12月5日(火) 18:30-20:30

場所 京都大学本部キャンパス

法経本館(時計台北隣の建物)東ウイング2階
第六教室

入場無料 申込み不要



講師 藤田 早苗 氏 エセックス大学人権センターフェロー



2013年、特定秘密保護法を英訳して国連に通報し、その危険性を国際社会に周知。2016年4月に行われた、表現の自由に関する国連特別報告者デービッド・ケイ氏の日本調査実現のために尽力。また2017年5月に日本政府への書簡で共謀罪法案について懸念を表明した、プライバシーの権利に関する国連特別報告者ジョセフ・カナタチ氏に情報提供を続け、同氏による字幕付きビデオメッセージを作成。日本の表現と情報の自由に関わる諸問題について問題提起を続ける。名古屋大学大学院国際開発研究科修了。英国エセックス大学で国際人権法学修士号、法学博士号取得。

コメンテーター 小山 哲 氏
京都大学大学院文学研究科教授(西洋史)
「自由と平和のための京大有志の会」発起人



主催・司会 高山 佳奈子
京都大学大学院法学研究科教授
「安全保障関連法に反対する学者の会」呼びかけ人
takayama@law.kyoto-u.ac.jp
共催 自由と平和のための京大有志の会